

2003年3月10日

会員各位

会則第20条に従い、2002年度決算および事業につき下記の如くご報告申し上げます。

遺伝子検査精度保証研究会  
会長 船渡 忠男

## A. 決算報告

期間：2002年1月12日～2002年12月31日

収入（単位は日本円）

寄付金*1	100,000
利子	1

---

計	100,001
---	---------

支出（単位は日本円）

会議費*2	90,000
次期繰越金	10,001

---

計	100,001
---	---------

\*1 国際臨床病理センター河合忠先生のご厚志による

\*2 遺伝子検査精度保証研究会設立総会費用

## B. 事業報告

1. 日本臨床検査医会未来ビジョン検討委員会遺伝子検査標準化ワーキンググループ 第2回会議（開催平成2002年1月12日）において、遺伝子検査精度保証研究会の設立が提案され、会則の承認と初代会長の選出が合同会議議事要旨（次項ホームページに掲載）の如く行われた。

2. 会則第6条に従い、ホームページを次のアドレスに開設した。

<http://sqamt.umin.jp/>

3. 本会は紙上会議を主たる活動の場として関連学術情報の収集および交換を行い、これまで遺伝子検査の精度管理、遺伝子検査廃棄物、正常DNAバンクの構築などが議論された。

4. 今後、学術誌等刊行物の電子出版、調査、研究および開発の国際的あるいは学際的協力の企画調整の活動を推進していく予定である。

以上

上記の決算および事業報告について監査の結果相違ないことを認めます。

2003年3月20日

遺伝子検査精度保証研究会  
監事 高木 康